## 新しい移住定住策はどう変わるのか

**木野田　誠　議員**

**問**　現在の移住定住補助制度は、本年度で終わるが効果はどうだったか。また、今後はどのような制度とするのか。

**答**　中山間地域に移住された方は、平成30年度末で延べ399世帯、1082人であり、地域の活性化や人口減少の抑制に一定の効果があった。今後は、40歳以下の若い世代に配慮した支援ができないか検討し、転入等の促進と若者の本市への定着という両面から総合的な移住定住策を進めていく。

### 過疎法及び辺地法の指定地域を広げる要請を

**問**　これらの法は、中山間地域の発展のために、大変有利な国の支援制度である。現在、旧横川町、旧牧園町、旧福山町が指定を受けているが、現状を配慮し旧霧島町も含めて、新しい過疎対策法の制定を国に要請できないか。

**答**　県と関係市町村の組織で、関係省庁や地元選出国会議員に要請活動を行う。本市としても、現行の一部過疎地域の指定を継続することに加え、指定地域以外における中山間地域等の実情や課題等も訴え、地方の実態に即した対策法が制定されるよう要請していく。

**その他の質問**
・橋梁管理について

詳しくはこちらで

## 学校図書館の充実した活用を

**川窪　幸治　議員**

**問**　小・中学校の図書館の活用と学校司書・司書教諭の配置の現状はどうか。

**答**　学校図書館は、読書活動や読書指導の場である「読書センター」や主体的な学習の場として、活用能力を育成する「学習・情報センター」としての機能を有している。図書資料の選択や発注、貸出業などを行う学校司書は、すべての学校に配置しているが、一部は他校との兼務や学校主事との兼務で対応している。司書教諭は、調べ学習や読書指導においても中心的な役割を担っている。

**問**　学校図書館の今後の取組はどうか。

**答**　読書は知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立ち、人生をより深く生きる力を身につけていく上で欠くことのできないものである。今後も親子読書や一斉朝読書の実施など、有効に活用させる取組を行いたい。

青葉小学校の図書館

**その他の質問**
・部活動について
・市職員のあいさつマナーについて

詳しくはこちらで

## 子どもの命をまもる児童虐待防止策の強化を

**久保　史睦　議員**

**問**　虐待は社会的問題であり、本市の重要課題でもある。法改正もされた。窓口の一元化、産後ケア事業等の対応策をより強化できないか。

**答**　関係機関と密に情報を共有している。窓口の在り方も検討していきたい。産後ケア事業も虐待防止に効果があると考えている。より連携の強化を図り早期発見・対応に努め対策を講じていく。

通話料は無料

### 高齢者福祉における安心安全支援策の充実を

**問**　移動手段に車を手放せない現実がある。踏み間違いによる事故を未然に防ぐ「後付け安全運転支援装置」への補助制度を創設できないか。

**答**　防止策として大変有効なものである。補助制度実施の事例もあることから調査研究する。

**その他の質問**
・市営住宅について
・食品ロスへの取組について

詳しくはこちらで



## 学校給食への補助や75歳以上に敬老祝金の支給を

**前川原正人　議員**

**問**　子育て支援は、保護者への経済的支援が最重要となる。子育て政策の一環として、給食費の補助はできないか。また、75歳以上の全員に敬老祝い金を支給できるよう検討すべきではないか。

**答**　給食無償化や3人目無償など検討したが、財政的に困難である。高齢者福祉は、いきいきチケットでのタクシーチケット利用を検討している。高齢者に喜んでもらえる施策を研究したい。

### 農道中崎中央線拡幅で新たな回路設置を

**問**　県道比曽木野～福山港線が崩壊したが、農道中崎中央線を拡幅し、う回路として新たな位置づけはできないか。

**答**　本農道は、う回路には幅員が狭く傾斜が急で険しいため難しい。崩壊した県道や市道の早期災害復旧に努めていく。

農道中崎中央線

**その他の質問**
・観光問題について

詳しくはこちらで

## 隼人駅周辺整備の方向性は

**松枝　正浩　議員**

**問**　隼人駅周辺整備の事業手法と賑わいの創出をどう考えているか。

**答**　来年度から事業開始に向けて、都市再生整備計画書を国へ要望している。また、駅周辺地区が一体となる賑わい創出と若い世代や多くの来訪者が集う魅力ある市街地を形成するため、通り会等と連携し、地域をけん引する人材育成や空き店舗の利活用を考えている。

事業化が期待される隼人駅周辺

### 本市の教育支援体制は

**問**　大阪府の家庭の教育機能総合支援モデル事業の成果を踏まえ、本市で活用できないか。

**答**　大阪府の取組は、家庭の教育力を高め学校の教育機能を活かして家庭教育を支援し、不登校等に大きな改善があった。本市は、スクールソーシャルワーカー等と関係機関が相互に連携し、不登校等の子どもや保護者を支援している。

**その他の質問**
・仕事納め式典中止について

詳しくはこちらで

## 論点情報の事前提示の徹底を

**山口　仁美　議員**

**問**　西郷どん村の前事業者撤退に関しては、計画段階でどのような問題があったと考えているか。

**答**　問題はなかったと考えている。

**問**　新しい施設整備であっても、継続事業扱いでは、新規事業評価シートの作成がされず、議会審議に必要な論点情報が提示されないことは課題ではないか。

**答**　今後は、議会へ適切な情報提示をしていく。

### 中学校の制服選定に子どもたちの声を

**問**　定期的に制服検討委員会を開催しているのは13校中3校のみである。学校の規模によって流通等の課題もあり、LGBTや女子の防寒など、学校ごとの改善のしやすさに差がある。福岡市のように、市の標準服と併用するなど検討できないか。

**答**　今後、校長会等で話し合い、実態を把握し、しかるべき対応を考えていきたい。

福岡市の標準制服

**その他の質問**
・幼保小接続について

詳しくはこちらで